# ニトロソアミン類測定

## - 簡易定量法試験で 迅速・シンプルに確実な対応を -

ユーロフィン分析科学研究所(以下、E-ASL)では、 GMP省令準拠で管理された分析機器を用いて、ニトロ ソアミン類分析の試験法開発、バリデーション、定量 試験もしくは限度試験が可能です。

E-ASLが推奨するリスク評価及び簡易定量法試験による スピーディで利便性の高いサービスをご紹介します。

### ニトロソアミン類のリスク評価と分析

#### 図1: リスク評価と分析のステップ



STEP 3 – STEP 2の結果に 応じた対応

### リスク評価の進め方

- 1. 優先順位の決定
- ◇ 優先順位リストの作成
  - 最大一日投与量、治療期間、適応症、治療対象患者数などの項目を考慮し、リストを作成
  - 限度値の算出
- 2. リスク評価
- ♦ 製造工程の照査
- ◇ 工程管理の状況調査
- ◆ 製造工程で使用する原材料 (試薬、溶媒及び触媒) または出発物質及び中間体の製造法

リスク評価後に、混入または生成リスクがあると判断された場合、 当局に報告し、遅延なく検証試験を実施する。また、承認書・ 承認申請書に対して、必要な変更を行う必要がある。



- E-ASLのニトロソアミン類 (PMDA指定9種のニトロソアミン類 + NDPA)の同時分析法を用いて、お客様の原薬や製剤等に含まれるニトロソアミン類の簡易定量を実施 (限度値: 0.005~0.3 ppmに対応)
- E-ASLは、複数の試験法を有しており、事前の質問票による物性情報を基に、事前検討にて最適な試験法の組み合わせを選択
- ・ お客様のご希望の許容限度値をクリアできるよう、 各ニトロソアミン類の基準濃度及び試料調製濃度を決定し、 LC-MS/MSを用いて簡易定量(限度試験)を実施

# 表1: E-ASLで同時測定が可能なニトロソアミン類 (PMDA指定9種のニトロソアミン類 + NDPA)\*

略称	正式名称
NDMA	N-Nitrosodimethylamine
NDIPA	N-Nitrosodiisopropylamine
NDEA	N-Nitrosodiethylamine
NMPA	N-Nitrosomethylphenylamine
NIPEA	N-Nitrosoethylisopropylamine
NMBA	N-Nitrosomethylaminobutyric Acid
NDPA	N-Nitrosodi-n-propylamine
NMOR	N-Nitrosomorpholine
NDBA	N-Nitrosodi-n-butylamine
MeNP	N-Nitroso-N'-methylpiperazine

\* E-ASLでは、簡易定量可能な化合物の種類を増やすため、試験 法開発を継続的に実施。

#### 簡易定量法試験のフロー

#### 表2: E-ASLの試験法を用いた簡易定量のフロー



#### 簡易定量法試験のメリット

- 試験法開発不要で、試験実施が可能: E-ASLでバリデート した試験法で測定するため、試験法開発・バリデーション が不要
- ・試験毎に異なる基準値を選択: 0.005 ~ 0.3 ppmの範囲で基準値を選択できるため、一日摂取量に合わせて基準値を設定することが可能
- •新たなニトロソアミン類が当局により指定された場合、 容易に対応が可能:随時、E-ASLが試験法を更新し対応

# バリデーション (GMP)

• 簡易定量法試験 (Non-GMP) 以外にも、お客様のご要望に合わせて、LC-MS/MSを用いて許容限度値をクリアできる試験法の開発、ICH-Q2ガイドラインに基づいた分析法バリデーション (GMP)、バリデートされた分析法を用いた定量試験もしくは限度試験の受託が可能

## 海外ラボ (イタリアミラノ) との連携

- 欧州医薬品庁 (EMA) や米国食品医薬品局 (FDA) のガイドラインに合わせて、20種類の化合物の同時測定が可能
- 規制当局から許容摂取量が規定されていない、新規ニトロソアミン類やAPIに関するニトロソアミン類 (NDSRIs: Nitrosamine Drug Substance-Related Impurities) に対する毒性学的評価や海外規制対応のコンサルティングが可能
- 2018年から欧州の製薬企業を中心に受託してきた実績
- GMP省令準拠で管理されたLC/MSを 6 台保有し、迅速に対応
- ウェビナーやワークショップの開催
- 海外ラボで実施する試験は、E-ASLが全面的にサポート

## ユーロフィンバイオファーマプロダクト テスティング (BPT) が選ばれる理由

- GMP省令準拠で管理された分析機器 LC-MS/MS, GC-MS/MS、UPLC-HR/MS、SPME-HS-GC-MS/MSシステムを用いて高感度・高精度な分析が可能(E-ASLでは、 島津製作所社のNexera X3システム及びエービー・サイエックス社のQTRAP® 6500+ LC-MS/MS システムを導入)
- 2018年に欧州のラボ共同でニトロソアミンタスクフォースを立ち上げ、EMA/FDAの通知等動向にタイムリーに 追随し、準拠したサービスを提供してきた経験と実績
- リスク評価から対応可能
- Sartans、Ranitidine、Metforminなど、様々な原薬・ 製剤について、剤形を問わず対応可能
- NDSRIsも測定が可能

#### 参照資料:

欧州

- EMA Assessment report EMA/369136/2020
- Questions and answers for marketing authorisation holders/applicants on the CHMP Opinion for the Article 5(3) of Regulation (EC) No 726/2004 referral on nitrosamine impurities in human medicinal products <a href="EMA/409815/2020 Rev.17">EMA/409815/2020 Rev.17</a>
- N-Nitrosamines in active substances EP 2.5.42

米国

- Control of Nitrosamine Impurities in Human Drugs FDA Guidance for Industry
- Nitrosamine Impurities <u>USP <1469></u>

ICH

\* Assessment and Control of DNA reactive (Mutagenic) impurities in pharmaceuticals to limit potential carcinogenic risk ICH M7(R1)

お問い合わせ:ユーロフィン分析科学研究所 Email: easl.cserv@bpjp.eurofinsasia.com

Comprehensive GMP Testing Services

\_\_\_\_\_

Flexible Service Models

Fee For Service (FFS)

Full-Time-Equivalent (FTE

PSS Insourcing Solutions



BioPharma Product Testing